

政務活動費 集計表【会派支出】

会派名 無所属 山崎裕子

10月分

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費
30,652 円	42,800 円		5,400 円
広報・広聴費	人件費	事務所費	その他の経費
合 計			78,852 円

政務活動費 報告書【会派支出】

議員氏名 無所属 山崎裕子

日 時	令和7年10月18日10時～15時			
場 所	オルタナティブ生活館(神奈川県)			
会 議 名 ・ 支 払 先	全国市民政治ネットワーク 全国交流集会2025 ・ 全国市民政治ネットワーク			
調 査 目 的・ 内 容・ 結 果	基調講演「差別と闘い勝った人々」では崔江以子さんのお話を伺った。日本で初めてヘイトスピーチに対し罰則を設けた条例である「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定までの経緯と、今も続く数々の苦難についてお話を伺った。差別があるということを認め、行政責任で解消することが大切だと認識した。分科会では「介護保険制度のいまとこれから」をテーマに、小竹雅子さんから介護保険の現状と山積する課題について学んだ。制度も次々変わっていくのでとにかく情報を得ること、学び続けることが大切であると感じると同時に、介護で時間的、心身にゆとりが得られない中でこの難しい制度を理解し手続きを行うことは本当に大変なことだと痛感した。			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	参 加 費		1,000 円
	研究 研 修 費	交 通 費	JR東日本 長野～新横浜	16,500 円
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
	合 計			17,500 円
(領収書添付欄) 別紙				

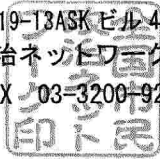
2025年10月18日

領収証

山崎裕子 様
1,000 円

「全国市民政治ネットワーク 全国交流集会」
参加費として 上記金額を受領いたしました。

東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13ASKビル 4 階
全国市民政治ネットワーク
TEL 03-3200-9189 FAX 03-3200-9274



領収書

Receipt 山崎裕子 様
領収年月日 2025.10.17 登録番号: T9011001029597
金額 ￥16,500 税 10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(50495 4枚)
東日本旅客鉄道株式会社

長野駅VF56発行 60496-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収書

Receipt 山崎裕子 様
領収年月日 2025.10.17 登録番号: T9011001029597
金額 ￥16,500 税 10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(50495 4枚)
東日本旅客鉄道株式会社

長野駅VF56発行 60496-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

2025 全国市民政治ネットワーク交流集会 神奈川大会

コンセプト；人権について考える講演会とトークセッション、介護保険制度にフォーカスした分科会を企画。

沖縄に次ぐ基地県である神奈川から軍拡が進む横浜ノースドックを視察し、実践を伴う共同訓練が進む県内基地の危うさを市民による監視の目から報告を受けるフィールドワークを企画する。

10月17日（金） 18:30～20:30

●前日交流会 会場：健康中華「青蓮」日本大通り店 横浜市中区本町 1-7 東ビル 1F 101
050-5484-5601

参加費：ひとり 4,000 円（税込み）

10月18（土） 10：00～16:45 受付開始 9:30

会場：オルタナティブ生活館・スペースオルタ（地下1階）
オルタリアン（2階）

参加費：会場参加のみ 1,000 円 ZOOM:無料 ←

●基調講演 10：00～11：00/質疑応答 30分 11：30 終了

会場：スペースオルタ（地下1階）

講師：崔江以子(チェ・カンイジャ)さん 「差別と闘い勝った人々」

2020 年度人権賞受賞者。在日コリアン 3 世、川崎条例を作る先頭に立ってきたおひとり。

川崎市の「差別のない人権尊重のまちづくり条例」の核心内容など。「差別発言には最高 50 万円の罰金」と罰則を盛り込んだ日本初の条例を勝ち取った軌跡をお話いただく。

主催者挨拶、進行：渡辺あつ子共同代表

●分科会 1 13：00～15：30 （質疑応答含む）

「人権尊重のまちづくり～誰もが大切にされる社会～」

参加者が人権問題を「自分事」として捉えられるよう、身近な問題から取り上げ、人権尊重の意識を高めることを目指すトークセッションとする。

会場：会場：オルタナティブ生活館・スペースオルタ（地下1階）

・ゲストスピーカー：崔江以子さん

・ファシリテーター：青木マキさん（ネット青葉・神奈川県議。報告者も兼ねる）

・報告者：埼玉県市民ネットワーク・山田ゆう子さん（越谷市議）「埼玉県川口、蕨両市周辺に暮らすクルド人へのヘイトスピーチの現状」

ネット宮前・大西いづみさん（前川崎市議）「日本初『差別のない人権尊重のまちづくり条例』制定への議会の動き」

大和市民会議・吉田奈々さん（大和市議）「私たちに決めさせて。2024 年小学 5 年生が市議会に請願を出したとき、議会はどう対応したか。2025 年、再度請願を出したがトドメとなったことについて。」

高橋 茂 (voice Japan 代表) 「(参議院選を振り返って～日本人ファーストに踊らされた国民～」

ネット青葉・青木マキ（神奈川県議）『『ともに生きる社会かながわ憲章』の理念は浸透したか』

- ◆会場から信州ネットから「子どもの権利条例」の制定に向けて骨子案を公表し、パブリックコメントを実施しているなどの情報。

有識者による答申内容から一転、罰則規定が削られ、差別を本気でなくす姿勢が見られない相模原市人権尊重のまちづくり条例の問題など。

●分科会 2 13:00～15:30 質疑応答含む

- ・会場：オルタナティブ生活館・オルタリアン（2階）

講演「介護保険はどこに行く！？」

- ・講師：小竹雅子（おだけ・まさこ）さん市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰

●分科会 3 フィールドワーク 13:00～14:30（12:30 京浜フェリー乗船場到着）

「海から見る横浜ノースドック」

- ・ガイド：星野 潔（ほしの きよし）さん リムピース編集部。

11:30 オルタ館から新横浜駅に移動。新横浜＝11:53 5番線（JR横浜線 東神奈川行）

菊名＝12:02 3・4番線（東横線 各停 元町・中華街行）12:19 日本大通り下車 徒歩5分 京浜フェリー乗船場

途中で昼食の購入、船内飲食可。

星野さんは、長年、神奈川県内の基地や周辺に飛ぶオスプレイ、原子力空母などの監視を続けているかたわら「地域の軍事基地化を許さない」という強い思いで情報発信をされている。近年、特に横浜港内に「遠征海上基地」ミゲル・キースが停泊するなど、軍港ではないエリアでの在日米軍の動きに警鐘を鳴らしている。

- ・乗船料 全国市民ネット関係者：ひとり 1,000 円

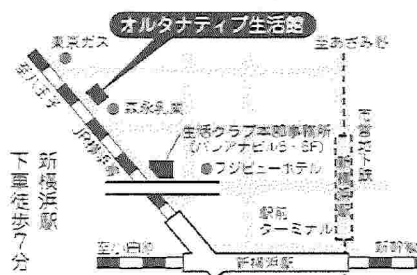
一般参加者：ひとり 2,000 円

●報告集会 16:00～16:45 スペースオルタ（地下1階）

- ・各分科会、参加者からの感想、政策提案に向け取り組みたいことなどを報告してもらう。

- ・会場撤収作業：神奈川ネット事務局スタッフ他

生活クラブ神奈川の施設 オルタナティブ生活館（オルタ館）



〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-8-4

電話：045-472-5151 FAX：045-472-5029

全国市民政治ネットワーク 全国交流集会に参加しましょう!

全国市民政治ネットワークの2年に1度の交流集会を下記のとおり10月18日に開催します。
今回は神奈川県ネットが担当します。「ケアを地域社会の真ん中に」をテーマに、
ケアに満ちた社会の構築、人権を尊重し多様性を認める地域社会の実現、「ケア」を担う
労働環境などゲストスピーカーとともに語りあいましょう。
また、フィールドワークでは沖縄に次ぐ第2の基地県である神奈川県の横浜ノースドックで
進む軍拡のリアルを海上から確認します。どうぞ、ふるってご参加ください。

日時：2025年10月18日（土）10：00～17：00

✦会場：生活クラブ・オルタナティブ生活館・スペースオルタほか
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目8-4 045-472-5151
新横浜駅徒歩8分

第1部 オルタ館・スペースオルタ（地下1階）ZOOM併用

基調講演：講師 崔江以子(チェ・カンイジャ)さん

テーマ「差別と闘い勝った人々」

在日コリアン3世として、川崎条例を作る先頭に立ってきたおひとり。

分科会1 トークセッション

崔江以子さんをゲストスピーカー

「各地でのヘイトの現状、川崎市の人権条例制定までの道のり、子どもが人権を主張した事例、参議院選の争点など」

- ・山田ゆう子さん（越谷市議）
- ・大西いづみさん（前川崎市議）
- ・布瀬めぐみさん（大和市議）
- ・高橋 茂さん（voice Japan代表）

ファシリテーター

青木マキさん（神奈川県議）

分科会2 介護保険を考える分科会

小竹雅子さんによる講演

「介護保険はどこに行く!？」をテーマに、市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰 小竹雅子さんによる情報満載の講演会。

会場からもぜひ、自治体の現状など活発なご意見ご質問をお願いします。



分科会3

フィールドワーク

「海から見る横浜ノースドック」

軍拡が進む横ノースドックを海上から確認します。
ガイドは市民監視団体

「リムピース」

星野 潔さん

乗船料：2,000円

報告会：16：30～ スペースオルタにて各分科会の報告会を行います。

参加申し込みは、右の申し込みフォームまたは、神奈川ネットワーク運動

kgnet@kgnet.gr.jp 全国市民政治ネット交流集会 受付まで



政務活動費 報告書【会派支出】

議員氏名 無所属 山崎裕子

日 時	令和7年10月27日12時50分～令和7年10月28日16時30分			
場 所	三多摩労働会館(東京都立川市)			
会 議 名 ・ 支 払 先	第58回議員の学校 NPO法人多摩住民自治研究所			
調 査 目 的・ 内 容・ 結 果	①「戦後80年、平和と人権の創造・実戦部隊としての地方自治～『地方自治の本旨』が保障する『権利としての地方自治』 日本国憲法の構成、条文を読み解きながら、地方自治の基本を学んだ。地方自治は権利であるという意識を持ち続けることが大切である。②教育委員会制度と公共施設再編 戦後80年の歴史からとらえる」憲法解釈の視点と判例などから教育委員会のありかたや権限について学んだ。とりわけ社会教育として住民が障害にわたって自由に学習するための条件整備の役割と責任が自治体に問われている。 ③「戦争の傷と向き合い、平和を創る地域の試み」 長生炭鉱、花岡事件などの事例、各自治体の平和事業への取り組みを学んだ。地域において戦争で起きたことを共有することが重要である。④自治体が挑む外交 トランプ政権下の日米関係と沖縄の挑戦」外交には戦争が起きないような環境を最大限整備する役割がある。ハイレベルな外交だけでなくマルチトラック外交推進が重要。姉妹都市のような事業も大切である。足元から何ができるのかを考えたい。			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	受 講 料		22,000 円
	研究研修費	振込手数料		152 円
	調査旅費	交 通 費	JR東日本 長野～立川 往復	16,500 円
	資料作成費	宿 泊 費	立川ワシントンホテル	9,800 円
	資料購入費	書 籍 代	『もっと生きたかった』やまゆり園事件と人権	3,200 円
	広報・広聴費			
	人 件 費		藤井克徳ほか著	
	事 務 所 費		自治体研究社 2025年9月	
	その他の経費		346p ISBN9784868260103	
	合 計		51,652 円	
(領収書添付欄)別紙添付				



第58回議員の学校受講案内

1 件のメッセージ

To: [REDACTED]
Cc: tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp

2025年10月20日 20:55

山崎 裕子様 整理番号2009

NPO法人多摩住民自治研究所です。
「第58回議員の学校」受講案内をお届けいたします。

お申込内容は下記の通り承っております。
ご確認いただき間違いや変更等ございましたら、お早めに事務局までご連絡ください。

■申込内容をご確認ください。

受講形式: 会場

講義: 第1講「戦後80年、平和と人権の創造・実践舞台としての地方自治」池上洋通氏, 第2講「教育委員会制度と公共施設再編」荒井文昭氏, 第3講「戦争の傷と向き合い、平和を創る地域の試み」神子島健氏, 第4講「自治体が挑む外交〜トランプ政権下の日米関係と沖縄の挑戦」猿田佐世氏
グループワーク (ふりかえり & シェアタイム): 参加する

交流会: 参加する

交流会費: 4500円

受講料: 22000円

合計: 26500 円

領収証宛名: 山崎ひろこ

■資料等について

受講案内・振込先案内等は下記サイトからご覧いただけます。

必要に応じてダウンロードしてください。

<https://tamajichiken.wixsite.com/gakko/guidance>

※レジュメ・Zoomアドレス等は別途事務局からご案内いたします。

■受講料の振込みについて

下記のいずれかの口座にお振込みください。

〇ゆうちょ銀行

[REDACTED]

加入者名 NPO法人 多摩住民自治研究所

〇他金融機関からゆうちょ銀行への振込口座

[REDACTED]

〇みずほ銀行

口座名義 特非) 多摩住民自治研究所

※1 お振込の際は、整理番号と氏名をご入力ください。
四桁の整理番号「2009」を名前の前にご記入ください。
振込人名義が団体名の場合でも「2009団体名」とご入力ください。

※2 複数名分をまとめて振込される場合は代表者の整理番号をご記入ください。
その他、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合わせください。

.....
NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016

東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

Tel : 042-586-7651 Fax : 042-514-8096

E-mail : tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.tamaken.org/>
.....

領収書

Receipt
領収年月日 2025.10.24 登録番号: T9011001029597
金額 ￥16,500 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(30339 4枚)

東日本旅客鉄道株式会社

長野駅VF56発行 40340-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収書

Receipt
領収年月日 2025.10.24 登録番号: T9011001029597
金額 ￥16,500 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(30339 4枚)

東日本旅客鉄道株式会社

長野駅VF56発行 40340-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収証

山崎ひろこ 様 2025 年 10 月 28 日

★

¥3,200-

但 書籍代として

上記正に領収いたしました

内 訳

10% (税込・税抜) 金額

消費税額等

NPO法人多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

8% (税込・税抜) 金額

消費税額等

TEL 042-586-7651

FAX 042-514-8096

登録番号

領収書

No. 251020-582009-1

発行日 2025年10月27日

山崎ひろこ 様

¥22,000-

但し、第58回「議員の学校」参加費

2025年10月23日 上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

TEL042-586-7651 FAX042-514-8096

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
07-10-23	11190	A93190009
取扱店	ナカノナカゴショ	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*26,500	料金 *152
振替受付票  払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行) 入金額 *30,000 おつり *3,348		
商品のご案内のため郵便局では個人情報 情報の利用同意をお願いしています		

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
07-10-23	11190	A93190009
取扱店	ナカノナカゴショ	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*26,500	料金 *152
振替受付票  払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行) 入金額 *30,000 おつり *3,348		
商品のご案内のため郵便局では個人情報 情報の利用同意をお願いしています		

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

領収証

お名前 山崎 裕子

様

2025/10/28 102802151962

金額

¥9,800-

(内 宿泊税: 0)

印紙税申告納
付につき立川
税務署承認済

立川ワシントンホテル

〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-7-16
TEL:042-548-4111

但し

ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。



議員の学校

2025
10/27 (月)
/28 (火)



戦後80年に考える
その2

市町村議会から世界平和を築くには

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所
[会場+オンライン(定員100人予定)]
見逃し配信あり:2025年12月末まで

●会場: 三多摩労働会館 <http://www.sanroukaikan.or.jp/access.html>
(JR立川駅北口 東側階段下より徒歩3分 / 東京都立川市曙町2-15-20)

Special ■第4講■ 10/28 (火) 13:00~15:00

自治体が挑む外交 ~トランプ政権下の日米関係と沖縄の挑戦

ワシントンと台湾から帰国したばかりの氏から貴重な話が伺えます

猿田佐世氏 新外交イニシアティブ (ND) 代表、ND上級研究員・
弁護士 (日本・ニューヨーク州)・立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員

■第1講■ 10/27 (月) 13:00~15:00
戦後80年、平和と人権の創造・
実践舞台としての地方自治
~「地方自治の本旨」が保障する「権利としての地方自治」
池上洋通氏 地方自治研究者、NPO法人多摩住民自治研究所 元理事長

■第2講■ 10/27 (月) 15:10~17:10
教育委員会制度と公共施設再編
~戦後80年の歴史からとらえる
荒井文昭氏 東京都立大学名誉教授、NPO法人多摩住民自治研究所 理事長

■ふりかえり&シェアタイム 17:15~17:55 ※18:00 終了

■第3講■ 10/28 (火) 10:00~12:00
戦争の傷と向き合い、平和を創る地域の試み
神子島 健氏 東京工科大学教授、NPO法人多摩住民自治研究所 副理事長

■まとめの質疑応答・意見交換 15:10~16:20 ※16:30 閉会

満州事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争へと続く十五年戦争は、アジアの広大な地域の人々の生命を奪い、日本社会にも計り知れない犠牲を強いました。この過誤の反省をふまえた日本国憲法は、大日本帝国憲法を根本的に見直した「改正憲法」であり、国民主権・基本的人権・国際平和という画期的な原則を掲げ、国会・内閣・司法の三権と、これらと対等に位置づく地方公共団体によって原則を具体化する体制を定めました。

しかし現実には、米国の軍事路線の下で軍事体制が拡張し、沖縄をはじめ全国で住民の権利と自治、社会保障や教育の基盤が侵害されてきました。憲法が否定したはずの軍勢力が、安保体制の名の下に復活・増強され、基地の固定化と強化が進められています。地方自治体と住民は、この矛盾に抗し、自治の営みを権利としてとらえ直し、憲法が定める「地方自治の本旨=住民自治・団体自治」の原則の上に、参加と合意に基づく行政、透明性ある財政、福祉と教育の充実を追求してきました。

今回の講座は、これらの事実を振り返りつつ、日本国のそして居住する自治体の主権者として、平和と人権の豊かな展望を開くことを期して開催します。



▲第58回議員の学校お申込み
ご期待ください!

多摩研 第58回

講師プロフィール 議員の学校

■ 猿田佐世 (さるた さよ) 氏

新外交イニシアティブ (ND) 代表、ND 上級研究員・弁護士 (日本・ニューヨーク州)・立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員
第2次トランプ政権が誕生し、国際社会に大きな変化を及ぼしています。外交や安全保障は、官僚と国会議員が動かしている遠い世界のもの、と考えてしまいがちです。しかし、米軍基地の集中によるしわ寄せを受ける沖縄県では、以前から米国への働きかけを行ってきました。新外交イニシアティブ (ND) というシンクタンクを立ち上げ、沖縄の動きに関わり、地位協定の調査などを行ってきた立場から、日米関係の現状をお話したうえで、沖縄県の経験をふまえ、地域から平和の声を発信していくための道筋を考えて見たいと思います

《プロフィール》 早稲田大学法学部卒業後、タンザニア難民キャンプでの NGO 活動などを経て、2002 年日本にて弁護士登録、国際人権問題等の弁護士業務を行う。2008 年コロンビア大学ロースクールにて法学修士号取得。2009 年米国ニューヨーク州弁護士登録。2012 年アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号取得。ワシントン在任時から現在まで、各外交・政治問題について米議会等で自ら政策提言を行う他、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。米議員・米政府面談設定の他、米シンクタンクでのシンポジウム、米国連邦議会における院内集会等を開催。研究課題は日本外交。基地、原発、日米安保体制、TPP 等、日米間の各外交テーマに加え、日米外交の「システム」や「意思決定過程」に特に焦点を当てる。

■ 池上洋通 (いけがみ ひろみち) 氏 地方自治研究者、NPO 法人多摩住民自治研究所 元理事長

日本国憲法は、「全国各地の地域は、そこに居住する住民の個人的な権利の具体化を認め合い、自由な意見の交換の上に共同体を形成することができる」という趣旨で地方公共団体の自主的な形成と運営を基礎にした「地方自治」について、第7章に規定しました。この講義では、原則的な規定を理解することから始め、戦後80年間における数々の中央政府による「改正提案・改悪的政策の強行」やそれに対する抵抗などを確認します。そして現在、日本の地方自治体制はどういう現実に向き合っているのかを、国際的な視野も含めた客観的資料をできるだけ丁寧に掲げ、学び合いを深めていきます。

《プロフィール》 1941 年静岡県生まれ。講師は自治体職員、研究機関常勤役員、千葉大学教育学部非常勤講師 (社会教育原論) などの経験を持つ地方自治理論・政策の実践的研究者。著書・論文は地方自治体論をはじめとして、保健医療、社会福祉、教育、防災など、自治体政策の全分野にわたります。■著書 『人間の顔をしたまちをどうつくるか』(自治体研究社)、『生きたかった一相模原障害者施設殺傷事件が問いかけるもの』(共著 大月書店)、『学び』を止めない自治体の教育行政』(共著 自治体研究社) ほか多数。

■ 荒井文昭 (あらい ふみあき) 氏 東京都立大学名誉教授、NPO 法人多摩住民自治研究所 理事長

戦後日本は戦前の反省に立って、教育の目的を「人格の完成」としました。そして、「平和的な国家及び社会の形成者」に一人ひとりになっていくことがめざされました。教育のあり方はまた、地方自治のあり方と深く結びついています。この講義では、教育委員会制度の基本を学ぶとともに、公共施設再編を戦後80年の歴史からとらえることによって、基本的な人権としての「教育を受ける権利」をわがまちでどのように実現していくのか学びあいます。

1959 年生まれ。東京都立大学大学院、同人文部助手を経て、愛知教育大学教育学部、東京都立大学人文社会学部にて教育行政学を担当。博士 (教育学)。地方自治と学ぶ権利の関係について追求している。著書に『教育の自律性と教育政治——学びを支える民主主義のかたち』(大月書店、2021)、『世界に学ぶ主権者教育の最前線——生徒参加が拓く民主主義の学び』(学事出版、共編著 2023) ほか

■ 神子島 健 (かごしま たけし) 氏 東京工科大学教授、NPO 法人多摩住民自治研究所 副理事長

山口県の旧長生炭鉱では、海底から戦時中の事故で亡くなった労働者のものと思われる遺骨が発掘されました。調査を進めてきた市民団体は、さらなる発掘に向けて政府に協力を要請していますが、現時点で政府側の反応は否定的です。平和について考えるための記憶をとどめる遺構や記録は日本各地にあり、地域でこうした記憶を共有して活かすことは極めて重要です。議会でもどこまで合意できるのかも重要なポイントの一つになるでしょう。議会や市民、自治体はどのようなことができるか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

《プロフィール》 1978 年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻博士課程修了 (学術博士)、同専攻助教を経て、現在、東京工科大学 教養学環 教授。多摩住民自治研究所副理事長。主に思想や文学を通して、近代日本の戦争認識に関する研究をしている。平和構想研究会会員、事務局。■著書『戦場へ往く、戦場から還る』(2012、新曜社)、『身近な戦争遺跡“多摩火工廠”～多摩火工廠から米軍施設へ 80 年の変遷を考える～』(2021 多摩市/多摩市平和展市民会議) など。

1日目終了後に参加者と講師による交流会を開きます (参加は任意・会費4,500円)

料金

【会場・オンライン同一価格】

●部分参加 (1 講義あたり)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 13,000円
- ・上記以外 9,000円

●全参加 (4 講義)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員 37,000円
- ・市議会議員 25,000円
- ・町村議会議員 15,000円
- ・多摩住民自治研究所会員 (議員) 22,000円
- ・市民 1 講座: 1,000円 全参加: 3,000円



第 2009 号

第58回
多摩研・議員の学校修了証

山崎 裕子 様

あなたは当研究所主催の第58回「議員
の学校」の課程を修了されました
地方自治の発展のために さらに尽力さ
れますよう期待いたします

2025年10月28日

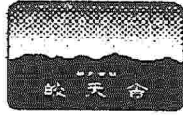
NPO法人多摩住民自治研究所
理事長 荒井文昭

政務活動費 報告書【会派支出】

無所属 山崎裕子

会派名

支 払 日	令和7年10月6日			
支 払 先	株式会社皎天舎			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	書 籍 代	「子ども家庭支援の理論と方法 保育・子育て・障害児支援・社会的用語の動向をふまえて」	2,200 円
	研 究 研 修 費			
	調 査 旅 費		渡辺顕一郎・金山美和子著	
	資 料 作 成 費		金子書房 2024年8月	
	○ 資 料 購 入 費		133p ISBN9784760824588	
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
	合 計			2,200 円
(領収書添付欄) 別紙				



株式会社 咬天舎

〒380-0835
長野県 長野市
新田町
026-217-6616
<https://koutensha.co.jp>

レシート番号: 3bsO

領収書

山崎 ひろこ 様

2025年10月6日	現金
小計	¥2,000
A 標準税率	
10% (10%)	¥200
合計	¥2,200

税率	税抜	税金	合計
A (10%)	¥2,000	¥200	¥2,200

現金 ¥2,200
おつり ¥0

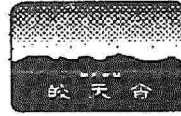
但し:

書籍代として

上記正に領収いたしました

収入印紙

登録番号: T2100001034084



写

株式会社 咬天舎

〒380-0835
長野県 長野市
新田町
026-217-6616
<https://koutensha.co.jp>

レシート番号: 3bsO

領収書

山崎 ひろこ 様

2025年10月6日	現金
小計	¥2,000
A 標準税率	
10% (10%)	¥200
合計	¥2,200

税率	税抜	税金	合計
A (10%)	¥2,000	¥200	¥2,200

現金 ¥2,200
おつり ¥0

但し:

書籍代として

上記正に領収いたしました

収入印紙

登録番号: T2100001034084

政務活動費 報告書【会派支出】

無所属 山崎裕子

会派名

支 払 日	令和7年9月22日			
支 払 先	NPO法人多摩住民自治研究所			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	年 会 費	半期分	円
	研究研修費		2025年10月分～2026年3月分	7,500
	調 査 旅 費		毎月発行の会報「緑の風」と会誌「住民と自治」代を含む	
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
合 計			7,500円	

(領収書添付欄)

ご利用明細票

お取扱日	店 番	取扱番号
07-09-22	11190	A93120008
取扱店	ナカノナカゴショ	
払込口座		
払込金額	*7,500	料金 *0
振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行) NPO法人多摩住民自治研究所 山崎裕子様 入金額 *10,000 おつり *2,500		
J P B A N K カード入会特典！ 最大1.5万円キャッシュバック！		

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

ご利用明細票

お取扱日	店 番	取扱番号
07-09-22	11190	A93120008
取扱店	ナカノナカゴショ	
払込口座		
払込金額	*7,500	料金 *0
振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行) NPO法人多摩住民自治研究所 山崎裕子様 入金額 *10,000 おつり *2,500		
J P B A N K カード入会特典！ 最大1.5万円キャッシュバック！		

写

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

自分の住んでいる自治体や地方自治について、 いっしょに考えてみませんか！

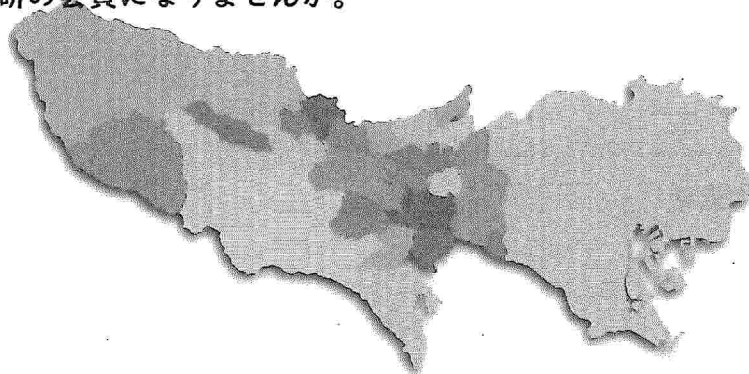
NPO 法人多摩住民自治研究所（多摩研）は、東京・多摩地域 30 市町村の住民、自治体職員、議員、研究者でつくる研究組織です。地方自治の発展をめざして、1971 年に設立されました。

憲法は「地方自治体のあり方はそこに住む住民の意見を土台にして決める」と定めています。多摩研は、この原則に基づいて、東京都やそれぞれの自治体の民主的な発展をめざす人々が語りあい、出会うことのできる場です。

多摩研は、自由に学びあえる場です。それぞれの自治体の課題や研究活動の成果を互いに持ち込んで、国の政策や全国的な経験から学ぶことのできる場を大切にしています。

多摩研は、だれでも参加できる開かれた研究所です。地方自治の発展に必要なさまざまな研究活動をおこなっています。また、多摩 30 市町村に関する基礎的な資料の収集と分析をおこなっています。

あなたも、多摩研の会員になりませんか。



d

多摩住民自治研究所・会員制度

*2023 年度下期（2023 年 10 月 1 日）より

会員	内容	議決権	特典 ※2	会費（年間）
正会員				
多摩研会員	毎月『緑の風』※1 送付	○	○	6,000 円
多摩研会員 + 『住民と自治』購読	毎月『緑の風』『住民と自治』送付	○	○	15,000 円
若者会員	毎月『緑の風』送付	○	○	3,000 円
賛助会員				
緑の風会員（個人・団体）	毎月『緑の風』送付	×	×	6,000 円
住民と自治会員（個人・団体）	毎月『住民と自治』送付	×	×	11,000 円
団体会員	毎月『緑の風』『住民と自治』送付	×	×	15,000 円

※1 『緑の風』は多摩住民自治研究所が発行する機関誌です。

※2 自治体研究社・書籍 1 割引。講座会員価格。

裏面にお申込書がございます。

「住民と自治」

自治体問題研究所編集・自治体研究社発行 月刊誌

内容：地方自治分野、福祉やまちづくりなど地域・自治体にかかわる諸分野の制度解説・先進事例の紹介。住民・自治体職員・議員・研究者の共同による、地方分権、まちづくり、福祉、住民自治の推進など、地域の課題解決に取り組む実践事例を掲載している。

「緑の風」

NPO 法人多摩住民自治研究所編集発行 月刊機関紙

内容：地方自治、住民活動、環境、まちづくりに関する論文や調査報告を掲載。専門的な自治研究の成果を市民に広めることを目的としている。

会費等納入のお願い

2025年9月10日

NPO法人 多摩住民自治研究所
理事長 荒井 文昭

山崎 裕子 様

191-0016
東京都日野市神明3-10-5
エスプリ日野103
TEL042-586-7651
FAX042-514-8096

○ご登録住所（変更があればお知らせください）

長野市松岡

請求照会番号

多摩研会員+住民と自治会員

※電話番号変更の場合もお知らせください。

当研究所への日頃よりのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。
2023年10月より、「新会員制度」での会費金額でご請求しています。
2023年9月以前の会費と異なりますので、会員種別や新旧会費金額にご注意ください。
なお、転居等で住所変更がある場合は、ご面倒でも研究所にご一報をお願いいたします。

請求額 7,500円

内訳 (2025/10/01～2026/03/31)

送付・部数 1

請求会費(半期毎) 7,500円

☐ 緑の風 あり

☐ 住民と自治 あり

※「定額寄附」欄に金額を記載した方 ➡

● 定額寄付金の欄に金額をご記載いただいた方には、その分も加算して納入をお願いします。

備考

【振込先口座】

・郵便振替口座(ゆうちょ銀行)

・みずほ銀行

・ゆうちょ銀行

口座名義

(特非) 多摩住民自治研究所

政務活動費 集計表【会派支出】

会派名 無所属 山崎裕子

11月分

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費
広報・広聴費	人件費	事務所費	その他の経費
合 計			0 円

政務活動費 集計表【会派支出】

会派名 無所属 山崎裕子

12月分

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費
		18,604	
広報・広聴費	人件費	事務所費	その他の経費
合 計			18,604 円

政務活動費 報告書【会派支出】

無所属 山崎裕子

会派名

支 払 日	令和7年12月11日			
支 払 先	株式会社蔦友			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	コピーリース料	11月分	3,300 ^円
	研究研修費	コピー使用料	11月分	36
	調査旅費	コピーリース料	10月分	3,300
	資料作成費	コピー使用料	10月分	3,418
	資料購入費	コピーリース料	9月分	3,300
	広報・広聴費	コピー使用料	9月分	5,250
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				18,604 ^円
(領収書添付欄)別紙添付				

領収証

No. 068685

長野市栄会様

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

43300

内

消費税等

但

10月12日 9月

現金

小切手

上記正に領収いたしました

株式
会社

薦友

〒381-0022 長野市大字大豆島字申ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

HISAGO #N1787(100)入シ J642171

領収証

No. 068688

長野市栄会様

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

75250

内

消費税等

但

10月12日 9月

現金

小切手

上記正に領収いたしました

株式
会社

薦友

〒381-0022 長野市大字大豆島字申ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

HISAGO #N1787(100)入シ J642171

隨時

隨時

領収証

No. 068686

長野市議会議員

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

73300*

内

消費税等

現金

小切手

但 2011-2分 10月 -

上記正に領収いたしました

株式
会社

薦友

〒381-0022 長野市大字大豆島字申ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

※ HISAGO #N1787(100)入シ J642171

領収証

No. 068689

長野市議会議員

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

73418*

内

消費税等

現金

小切手

但 2011-2分 10月 10分

上記正に領収いたしました

株式
会社

薦友

〒381-0022 長野市大字大豆島字申ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

※ HISAGO #N1787(100)入シ J642171

締切日付 2025/10/31
得意先CD

株式会社 友 薦

〒 381-0022
長野市大字大豆島字中ノ島2923
TEL (026) 214-3311
FAX (026) 214-7750
取引銀行

八十二銀行

登録番号 T5100001002030

繰越額 [A]				今回御買上額 [B]		
前回御請求額	今回御入金額	今回繰越額	差引繰越額	今回御買上額	今回消費税	御買上額合計
				3,000	300	3,300

今回御請求額	
[A] + [B]	
	3,300

[illegible]

※：軽減税率対象品目

隨時

隨時

領収証

No. 068687

長野市議会議員

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

9 3 7 0 0 *

内

消費税等

但 2014 年 12 月 11 日

現金

小切手

上記正に領収いたしました

株式
会社

篤友

〒381-0022 長野市大字大豆島字中ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

HISAGO #N1787(100)入シ J642171

領収証

No. 068690

長野市議会議員

山崎 裕子

様

7 年 12 月 11 日

金額

9 3 6 *

内

消費税等

但 2014 年 12 月 11 日

現金

小切手

上記正に領収いたしました

株式
会社

篤友

〒381-0022 長野市大字大豆島字中ノ島2923
TEL <026> 214-3311
FAX <026> 214-7750

(金額を訂正したものは無効)

HISAGO #N1787(100)入シ J642171

隨時

隨時